

研究 成 果 報 告 書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		大気汚染公害問題資料の保存と活用に関する調査研究—西淀川公害訴訟記録のデータベース化を中心に—			
研究テーマ (欧文) AZ		A study on the preservation and utilizing the records of air pollution problems: Computerization of archives on the Nishiyodogawa Air Pollution Lawsuit			
研究氏 代 表 名 者	カナ CC	姓)ヤリヤマ	名)ヨリコ	研究期間 B	2004 ~ 2005 年
	漢字 CB	鎗山	善理子	報告年度 YR	2006 年
	ローマ字 CZ	Yariyama	Yoriko	研究機関名	(財)公害地域再生センター
研究代表者 CD 所属機関・職名		(財)公害地域再生センター 研究員			
<p>概要 EA (600 字～800 字程度にまとめてください。)</p> <p>(財) 公害地域再生センターが所蔵する大阪・西淀川大気汚染公害訴訟 (1978 年提訴、1998 年全面解決／原告数 726 人) の裁判記録について、目録データベースを作成した。この裁判記録は西淀川公害訴訟弁護団が 21 年という長期にわたる裁判の全記録を合本の状態にしたもので、全部で 266 冊ある。</p> <p>データベースは資料の種類によって、いくつかの様式に分けて作成した。種類は「準備書面等」「書証」「弁論調書」「証人調書」「検証調書」「判決」「訴訟救助」。これらの中で「書証」の部分については、データ入力の第一次作業と点検作業を終え、データベースが完成した。資料点数は約 3600 点。その他の種類のデータベースについては、入力作業はおおまかには終えているが、詳細な内容点検や修正作業などは今後の課題として残った。</p> <p>一方、資料を公開・活用していくにあたって課題となるのが、個人情報を含む資料の扱い方である。本調査でデータベース化した裁判記録の中では、世帯の家計情報を含む訴訟救助に関する資料、裁判所での発言を記録した各種調書、診断カルテや陳情書などを含む書証などに、個人情報が多く含まれることが確認された。</p> <p>ただし、反公害住民運動は個人の健康被害や生活被害の実相を明らかにし、世論に訴えてきたことが、運動を大きく進めてきたという特徴がある。したがって、個人情報の有無だけで、資料の公開の是非を判断しては、その資料が本来もつ役割を果たせなくなる恐れがある。今後は、資料の活用事例を積み重ねながら、資料取り扱いのよりよい方策について検討していく。</p>					
キーワード FA		西淀川公害	裁判記録	資料保存	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	

欧文概要^{EZ}

Center for the Redevelopment of Pollution-damaged Areas holds trial records of the Nishiyodogawa air pollution lawsuit (266 volumes). In this study, we made the list of the Nishiyodogawa trial records and examined on subjects caused by releasing documents with personal information to public.

According to kind of documents, we made several forms of lists to input data. Part of them was completed comprising about 3600 items.

Meanwhile, how deal with documents including personal information should be examined. It was found that those documents with housekeeping information, records of speaking in a court, a medical certificates and petitions held a lot of personal information.

However, judging by whether those has personal information or not might set limits to their original role that document itself has. Because anti-pollution movements has characteristic that pollution victims were appealing to public their health and life damage situation. Therefore, it is natural that those documents has a lot of personal information.

From now on, increasing opportunities of utilizing Nishiyodogawa trial records is necessary to search a better way of dealing them.